

教 育 委 員 会 だ よ り



石桁支社長(左端)と目録を手にする保存会代表の方々



助成への感謝の意を述べる石田会長

『地域の伝統文化』助成金目録の贈呈式が行われる

明治安田生命クオリティオブライフ文化財団より

5月20日(木)、明治安田生命クオリティオブライフ文化財団(以下、「文化財団」)より「地域の伝統文化」助成事業の対象として、「上ノ国昔踊り」が保存継承すべき民俗文化財に選定され、上ノ国昔踊り保存会へ保存継承に係る費用の助成がされました。

この事業は、文化財団が全国の民俗文化財の中でも、特に、保存継承すべきものを各自自治体の推薦を受けて選定し、助成するものです。

今回、本町から選ばれた「上ノ国昔踊り」は、起源が戦国時代の戦勝を祝う踊りと言われている。そこから江戸時代になると松前藩主が三社詣で来訪された際に、歓迎のため踊られたそうです。

以降、一般の人にも広く普及し、お祭りの際などに踊られるようになり、継承する担い手がなくなり、消滅の危機にあり

ました。しかし、再び、有志の手により「上ノ国昔踊り保存会」を復活・継承されました。

今回の助成は、復活間もない活動のため、子ども用の衣装が不足している、今後継承を担う子どもたちの衣装代として活用する予定となっております。

文化財団を代表して、明治安田生命保険相互会社函館支社の石桁支社長より「上ノ国昔踊り保存会の文化財に対する保存継承の思いが高く評価され、北海道で唯一、本財団から選定された。今後、助成金を有効に活用してほしい」とあり、上ノ国昔踊り保存会会長の石田さんより「今回このような形で助成を賜うことができ、大変名誉なことであり、助成金は、今後この活動を子どもたちへ継承していくために活かしていきたい」とお話がありました。

ワクワク！神の国 スタンプラリーを実施

5月2日(日)に勝山館跡にて、神の国ファンクラブの主催のもと「神の国スタンプラリー&チャンバラごっこ」を開催しました。

この事業は、地域文化財総合活用推進事業を利用して、町文化財の普及や子供のボランティアガイドの育成、観光客への歴史体験創出を目的として実施しました。

参加者は子供6名で、旧笹浪家住宅から勝山館を通り、ガイダンス施設に向けてガイド付きで散策し、気になった植物や史跡の写真を撮影しチェックポイントの看板に貼っていき、復元箇所でチャンバラごっこをして戦国時代を体験しました。

次の日には、勝山館跡ガイダンス施設において、出土したお金や鏡を再現する铸造体験を行いました。参加した方々は、体験内容などに満足されたようです。



気になる植物にバシャリ！

文化財の 寄贈について

4月13日(火)に笠谷敏廣さんより伊万里焼大皿(江戸時代末)の寄贈を賜りました。

笠谷さんは、古くからお家で大切に継承されてきた品を今後も引き継いでいく人が、町内にいらつしやらないため、町に託すことで後世に伝えてほしいとの思いからご寄贈に至った次第です。

今後は、町内文化財の普及などに活用させていただきます。笠谷敏廣様ご寄贈ありがとうございます。



ご寄贈くださった
笠谷敏廣さん



寄贈品『伊万里焼大皿』